

第六十回 東北地区総合体育大会

江副 麻美子

今年の地区体は6月21、22日に東北文化学園大学で行われました。初日は男女共にお昼からだったので、午前中軽く練習してから会場へ向かいました。

～1日目～

2回戦 VS高城大

データはなかったのですが、勝つことを前提に4人全員試合に出て翌日に備える、ということを考えてオーダーを組みました。

1S 岩崎 2 (21 5・21 6) 0 山崎

最初の練習の時点で勝ちを確信しました。試合が始まって麻衣先輩は相手にスキを与えず、完勝。危なげなさをきいて、試合中は相手、柴咲「ウに似てないっ」とかのかのなきな事言っていました(笑)

2S 森 2 (21 17・21 7) 0 米倉

実力的には確美にちゆみの方が上だったのですが、1セット目は堅さが目立ち、いつもの調子が出ませんでした。でも2セット目は楽に勝利。

どんな状況でも緊張に負けずに、練習の時みたいなパワフルな試合ができるように頑張れ！

1D 江副・鷹海 2 (21 4・21 4) 0 須田・山崎

春季に続き、このペアでダブルとして戦つことになりました。普段通りやれば絶対に勝てる、と思ったので強気で試合に臨みました。緊張もありましたが、ほぼ練習とおりに試合を運ぶことができました。

結果 3 0で勝利！しかし大切なのは明日から。まずは弘大のオーダーが当たることを願いました。

～2日目～

3回戦 VS弘前大

春季で戦って勝った相手ですが、オーダー次第では負ける可能性もあり、侮れない相手です。麻衣先輩と相手のトースの松浦さんが当たれば勝てる！何とかしてシングル、ダブル両方当てよう！ 2S 1D連続で麻衣先輩が出る！ことになりました。体力的にとてもきついはずなのに、すたなりOKしてしまっ先輩、凄まじいわ...

1S 鷹海 2 (21 10・21 10) 0 上藤

ひやひやするところもなく完勝！ なつちゃんは本番でもいつもの力が発揮できるので、毎回その強さに感心します。もつためか、と思うような球も何とか撃ぎ、ラリーの中で形勢を逆転させていく姿はとても素敵です。

2S 岩崎 2 (26 24・21 15) 0 松浦

1セット目は松浦さんの粘りもあり、最後まで目が離せませんでした。お互い一步も譲らず、エースの意地と意地のぶつかり合いのように思えました。でも最後は東北のエース、麻衣先輩がポイントを重ね、その勢いで2セット目も連取！期待通りに勝ちを重ねていく麻衣先輩の存在は、共に戦つてメンバーとしてはとても心強いものです。

1D 岩崎・森 2 (21 18・21 16) 0 松浦・太田

麻衣先輩と松浦さんを当てよう、というオーダーが太当たり！春季でも当たったし、弘大戦に関しては神様も味方をしてくれていたみたいですよ(笑)とはいえ油断はできません。相手は前の詰めがとても早く、レシーブが浅くなると威力のある球を打ってきます。しかしさすがは1ダブル、相手の弱点をつまく狙い、レシーブを高く遠くに飛ばすことでミス誘いました。すんなり、というわけにはいきませんが、確実に勝つてくれました。

結果③ 0で勝利！麻衣先輩の連続出場のおかげで、見事オーダーが当

たったことが勝因です。

準決勝 VS東北学院大

1 存知 佐藤君愛率いる学院。しかし岩崎・森ペアは相手の2ダブルに春季で勝っています。団体として勝つことは厳しいものがありますが、ダブルスのオーダーを当てて、とにかく1勝(あわよくば3勝！)というのが目標でした。

1S 岩崎 0 (12 21・15 21) 2 工藤

工藤さんはウルスラ出身の1年生で、序盤から強さを見せ付けられました。でも麻衣先輩もただでは引き下がりませんでした。相手が決めたつもりで打った球を返してポイントにつなげたり、チャンス球をすかさず決めたり…。結果、負けてしまいましたが、最後まで相手に精神的余裕を与えないところはさすがだと思いました。

2S 鳴海 0 (11 21・16 21) 2 佐藤

相手は試合の組み立てから1つ1つのショットまで何もかも凄かったのですが、同時にミスが多いような気もしました。なつちゃんはそこを逃さず、うまく自分のラリーを展開していました。特に2セット目は点差がほとんどない状態で試合が進んでいき、心接にも熱が入ってきました。しかし最後は相手が実力を見せつけ、負けてしまいました。

1D 岩崎・森 2 (21 14・21 12) 0 赤塚・福土

学院戦でもオーダーは当たりました。春季で一度勝った相手というだけあって、相手の前に落としたり、バックを狙ったりと、うまく弱点をついていました。さすがは東北ベスト8！1ダブの安定感はずばりチームにとって非常に貴重なひとつの感じさせられます。

2D 江副・嶋海 0 (13 21・9 21) 2 佐藤・十藤

勝つことは厳しかったのですが、麻衣先輩とちゆみがせっかく勝つてくれたので、たとえ負けても1つでも多く自分達のラリーをしようという心掛けてコートに入りました。威力、動きなど全てが格上の相手なので、点は離れてしまったのですが、レシーブで粘ることが出来た気がしました。今後はそれだけではなく、レシーブを高く遠くに上げ、チャンス球を確実に決められるようになることが課題だと思います。

結果 1 3で負けてしまいましたが、学院から貴重な1勝を奪うことができて、岩崎・森ベアの強さを改めて実感しました。また、個人的にも課題がたくさん見つかった、為になる試合になりました。

3位決定戦 VS東北福祉大

菅原・千葉という最強の存在に加え、他の選手もまんべんなく強い福祉でも、相手がなめてかかってくる可能性もある気がしたので、そこ

に麻衣先輩をあてて、1つでも多く勝ちにいこうという作戦(?)でしました。

1S 岩崎 1 (19 21・21 14・20 22) 2 阿部

相手の3シンに当たり、何かいけそうな気がしました。序盤からハイレベルなラリーが展開され、互角の戦いでした。しかしセット目はあと一步のところまで落としてしまい、3シンでもこれだけ強いのか、と福祉の層の厚さに落胆していました。が、2セット目は麻衣先輩ペースで試合が進行し、214で勝利！先輩の強さを再び実感しました。そしていよいよファイナル。しかしここに来て麻衣先輩に疲れが見え始めました。この日5試合目のシングルで、しかもファイナル。私には想像も出来ません。相手もすんなり勝たせてはくれず、デュースまで持ち込みました。麻衣先輩も必死で粘ったのですが、結局負けてしまいました。

2S 嶋海 0 (10 21・12 21) 2 菅原

試合中表情を全く変えないし、声もほとんど出さない菅原さん(笑)この日も独特の雰囲気をも出しながら、強さを見せて付けてきました。なっちゃんも諦めずに喰らい付いていこうとして、いくつも良いショットを決めていたのですが、最後までポーカーフェイスを崩すことは出来ませんでした。

1D 岩崎・森 1 (21 15・15 21・19 21) 2 阿部・高橋

強い相手ですが、今の2人なら十分に勝てる可能性がありました。一セ

ツツ目は主導権を握ったまま勝利！この流れで勝って欲しいと願っていました。しかしさすがは福祉、簡単には負けません。

…と、ここでブレー中に停電し、ゲームが中断してしまいました！噂によると、川が関わっていたとかないとか？（笑）ずいぶん長い間再開されなかったので、電気がついたら、ダブルも入れて同時展開して、こうという案も出ました。1ダブルが負けたら無効になってしまうのですが、せっかく強いペアと試合できるのだから、と思い、相手に交渉に行きました。相手は無効になり得る試合をすることに乗り気じゃなかったように、座り込んでうちわを仰ぎながら「疲れた…」と言っていました。頼み込んで同時進行で試合してもらったことになりました。（続きは2ダブルで…）

電気がつき、試合再開。前述のいきさつがあり、私も試合に入っていたのでファイナルの途中まで見るのが出来ませんでした。自分の試合が終わり、点数を見ると、ツツ目は取られてしまったようですが、競りあっている最中でした。しかし疲れからか、珍しく麻衣先輩にミスが出始め、最後は相手に振り切られてしまいました。

2D 江副・嶋海 0 (1 21・12 21) 2 菅原・千葉

1ダブルが勝ったら無効な試合にはならないので、学院戦で見つけた課題

を1つでも実践できるように心がけました。しかし1セット目は付け入るスキを与えてもらえず、完敗でした。インターバルの時に賢さんから強い相手に対しては、予想外のところに球が来ると思って動くように、アドバイスを頂き、少し意識して動いてみました。すると、ポイントを取れるようになり、相手のミスも誘うことも出来ました。結果負けてしまい、1ダブルも負けてしまったため、このゲーム自体は無効になってしまいました。収穫はあったように感じました。

結果 0 3 (4) で負け、最終的に東北大学は4位となりました。

この地区体では、どんな強い相手にも余裕を与えない麻衣先輩の強さを改めて実感すると共に、1部校の強さ、層の厚さを実感しました。しかし秋季からは自分達も1部校です。この先の戦いの厳しさを再認識すると共に、チームとして更なるレベルアップが必要だと考えさせられました。

最後に、記憶が曖昧で事実と異なる部分が多々あると思いますが、ご了承ください。